

次に、第5の柱

『人と自然が共生した、自然・生活環境づくり』についてであります。

ごみの処理や資源物のリサイクルにつきましては、共同処理を行っております邑智クリーンセンターの「可燃ごみ共同処理施設」のほか、市内5施設において安定的な処理を行っております。引き続き、適正なごみ処理及び安定的な運営に務めるため、設備更新を計画的に実施するとともに、ごみの減量化及び資源物の分別化に向けた取り組みを推進してまいります。

また、**一般廃棄物処理手数料**につきましては、今年度、公共料金審議会を3回開催し、先般、答申を頂いたところであります。今後はその答申を踏まえて、手数料の見直しに向けた検討を進めてまいります。

地球温暖化対策につきましては、国において、温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにする、いわゆる「カーボンニュートラル」の実現を目指し、各種取り組みを推進しているところです。

本市といたしましても、地球温暖化は重要な課題と認識していることから、ここに「**ゼロカーボンシティ**」の実現を目指すことを宣言し、2050年における二酸化炭素の実質排出量ゼロの状態を目指してまいります。具体的には、今年度に策定した「大田市環境総合計画」に基づき、公共施設のLED化などの省エネ対策や、再生可能エネルギーの導入促進に向けた取り組みを推進してまいります。

水道事業につきましては、水道ビジョンの基本方針である「強靱・持続・安全」に基づき、効率的な経営を目指すとともに、老朽管路の更新などによる耐震化の推進や、必要な機器更新を計画的に実施し、引き続き、安全・安心な水道水の安定的な供給に努めてまいります。

なお、水道事業における経営環境は、給水収益の減少や物価高騰などの影響により、近年、厳しさを増している状況にありますので、経営の改善に向けて、様々な面から検討してまいります。